

学校教育課長の仕事宣言！

学校教育課長 平川 富久

①重点施策項目名	特色ある学校づくりを進めます ①小中一貫教育及び教科「日本語」の推進
②目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・教科「日本語」保護者や地域への公開授業実施 〔平成30年度〕平成30年度末までに全小中学校での実施 ・鳥栖西中学校区3小中学校による研究発表会の実施（11月22日）
③今年度の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年3月策定の「鳥栖市小中一貫教育基本計画」に基づき、小中学校が目標を共有し、教職員一体となって学習指導や生徒指導等に組織的、系統的に取り組めます。 ・教科「日本語」を柱として小中一貫教育を積極的に進めます。
④今年度の取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・「鳥栖市小中一貫教育基本計画」を見直し、「鳥栖市小中一貫教育基本方針」として改定を行いました。 ・「小中一貫教育に関する調査研究」を鳥栖中学校区3校に委嘱し、活用力の視点を取り入れた教育活動、教科「日本語」を柱とした調査研究に取り組んでいます。 ・「鳥栖市教育の日」を6月10日に実施し、すべての小中学校で教科「日本語」の授業を公開しました。 ・平成31年度「小中一貫教育に関する調査研究」発表を鳥栖中学校区3校において平成31年11月15日に開催する予定としています。
⑤数値目標の結果	<ul style="list-style-type: none"> ・教科「日本語」の授業公開については、すべての小中学校の全クラスで公開しました。
⑥成果と課題（次年度に向けて）	<ul style="list-style-type: none"> ・教科「日本語」を柱にした小中一貫教育の充実を図り、児童生徒の学力向上、特に活用力を身につけさせたい。

◇所管部長の指示

教科「日本語」を柱にした小中一貫教育の充実を図ること。

学校教育課長の仕事宣言！

学校教育課長 平川 富久

①重点施策項目名	特色ある学校づくりを進めます ②学校評議員の活用及びコミュニティスクールの進捗管理
②目標値	コミュニティスクールの取組学校数 〔平成30年度〕平成29年度末 0校 ⇒ 平成30年度末 2校 ・学校評議員会の年3回実施 ・学校運営協議会の年4回実施 ・各学校の課題解決に向けた道筋立て
③今年度の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティスクールの進捗管理を学校と協力して行います。 ・各小中学校で特色ある開かれた学校づくりを推進するため、学校評議員会を活用し、評議員の方々から意見や要望等を積極的に聞き、学校運営に役立てます。
④今年度の取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度導入に基里小学校と基里中学校にコミュニティスクールを導入しました。内定しました。 ・基里小・中学校の学校運営協議会委員とともに先進地域の春日市で研修を行いました。 ・基里小学校では地域の方々の呼びかけで登下校の見守り隊を組織しました。また、基里中学校では地域の方に放課後学習の指導員を務めていただきました。 ・基里地区の文化祭で基里小学校の児童は教科「日本語」で学習した落語を地域の方々に披露し、基里中学校の生徒は文化祭の進行役を務めました。
⑤数値目標の結果	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度、基里小学校、基里中学校の2校にコミュニティスクールを導入し、各校で学校運営協議会の年4回実施しました。 ・他の10小中学校で、学校評議員会の年3回実施しました。
⑥成果と課題 (次年度に向けて)	<ul style="list-style-type: none"> ・基里中学校区での取組を検証し、田代中学校区での導入に向けて、準備を始めます。

◇所管部長の指示

基里中学校区での取組を検証し、田代中学校区への導入に向け、準備をすること。

学校教育課長の仕事宣言！

学校教育課長 平川 富久

①重点施策項目名	特色ある学校づくりを進めます ③特別支援教育の充実
②目標値	指導主事の学校・幼稚園等への派遣回数 〔平成30年度〕平成30年度末までに延べ60回以上派遣（1校3回以上）
③今年度の取組方針	・生活指導補助員の資質向上のために研修会を実施したり、指導主事による各学校への巡回指導、支援をしたりするなどして特別支援教育の充実に努めます。
④今年度の取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・生活指導補助員の資質向上のため、研修会を年4回開催しました。1学期末の研修会では、齋藤麗子さんを講師に迎え、生活指導補助員の他、特別支援学級担任、管理職等が、自閉症スペクトラムである斉藤さんから当事者の視点で講話をいただき、必要な支援について学びました。 ・担当指導主事が各小中学校、幼稚園・保育所等を訪問し、障害のある園児・児童・生徒の観察を行い、就学や学校生活について指導助言を行ったり、保護者の相談に応じたりしました。 ・次年度の就学先決定に向けて、就学相談会を実施し、児童等のニーズに合った就学先の情報提供等を保護者に行いました。 ・12月5日に第2回鳥栖市就学指導委員会を開催し、平成31年度の就学先について、専門家にご意見をいただきました。
⑤数値目標の結果	<ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校等への指導主事派遣の回数は延べ30回、来庁相談20回、市就学相談会3回、就学指導委員会2回実施しました。 ・第2回鳥栖市就学指導委員会では、136名の児童等の就学先について専門家にご意見をいただきました。
⑥成果と課題 (次年度に向けて)	・来年度も市としての方針を示し、丁寧な相談と適正就学に努めます。

◇所管部長の指示

丁寧な相談と適正就学に努めること。

学校教育課長の仕事宣言！

学校教育課長 平川 富久

①重点施策項目名	豊かな心、健康な体を育む教育の充実を図ります ①いじめ防止の取組の充実
②目標値	「いじめ防止に関する研修会」の実施 〔平成30年度〕平成30年度末までに市立全小中学校での実施
③今年度の取組方針	・いじめはどの学校でも、どの子どもにも生じうるという緊張感をもち、未然防止と早期発見・早期対応の意識を高めます。
④今年度の取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題対策委員会を開催し、いじめに対する認識、見過ごしてしまわないための取組、学校での児童生徒の見取り方などについてご意見、ご指導をいただきました。 ・管理職及び生徒指導担当者を対象に、「いじめ防止に関する研修会」を実施し、「いじめ防止対策推進法」の改正の方向性について指導し、各学校での取組等について意見交換を行いました。その内容については全職員に伝達することとしました。 ・夏季休業中に、「なくそう いじめ」子ども会議を開催し、中学校区ごとに取組の発表、児童会、生徒会で共通していじめ防止へ向けて取り組む内容を話し合いました。
⑤数値目標の結果	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての小中学校の管理職、担当者を対象に「いじめ防止に関する研修会」を実施しました。 ・「なくそう いじめ」子ども会議を開催しました。
⑥成果と課題 (次年度に向けて)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、34件(2/14現在)のいじめの認知を行いました。昨年よりも高い意識をもち、積極的に認知し対応しました。 ・いじめを見逃さない意識をもって、児童生徒の健全育成に努めたいと思います。

◇所管部長の指示

「いじめ見逃しゼロ」に努めること。